

スタイラルランバー

施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工、取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷、ケガにつながる可能性があります。本書にそわず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

施工される方へ

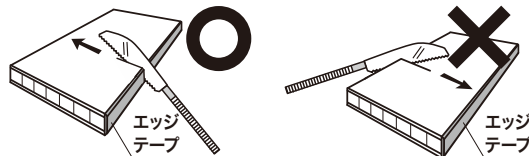
施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

スタイラルランバーの施工について

① 必ずエッジテープ側からカットしてください。

スタイラルランバーの幅方向をカットする場合、必ずエッジテープのある側からカットを始めてください。
反対側からカットすると、エッジテープがはがれるおそれがあります。



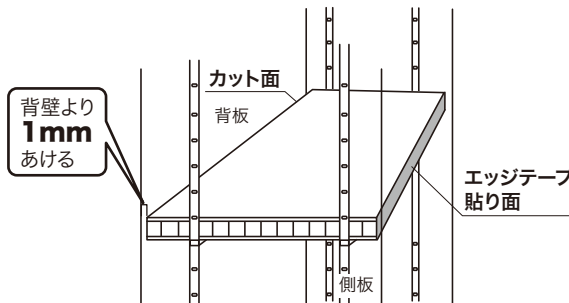
② クロス貼り後に棚板設置をする場合は、クロスが十分に乾いてから(24時間以上経過後)行なってください。

クロスが十分に乾いていないまま棚板を設置してしまった場合、クロスの損傷や、変色の原因になる可能性があります。

③ 可動棚板として施工する場合、背壁面より棚板を1mmあけて設置してください。

- 施工後に、棚板を可動させる場合も同様に設置してください。同様の設置が難しい場合は、別販売のエッジテープ※もしくは緩衝材(現場調達)を背壁側の棚板木口に取り付けてください。
- 背壁に接した状態で放置すると、環境条件により、棚板跡が残る可能性があります。

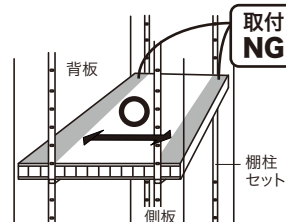
※木口テープにスタイラルランバー専用のカラー設定はありません。カットした木口面などに木口テープが必要な場合、近似色のパールグレー(品番:20PG-2)をおすすめします。



④ 施工完了後、スタイラルランバーの表裏面の保護フィルムを剥がしてください。

ハンガーパイプの取り付けについて

- ハンガーパイプは、弊社パイプセット(上吊タイプ)をご使用ください。
- ハンガーパイプを取り付ける際の対応棚板厚等の条件は、ハンガーパイプに同梱の説明書をご確認ください。
- 棚柱セットに設置する場合は、奥行方向の棚柱の間にパイプブラケットを取り付けてください。棚柱より手前側・奥側に取り付けると、棚板が傾き、落下するおそれがあります。
- 電動ドライバー等、トルクの強い工具で施工する場合、ネジ山が損傷しないよう注意してください。ビスの保持力を損なう危険性があります。



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この製品の材料は右記の通り自主表示登録を行っております。

発散等級区分: F☆☆☆☆

製品名: スタイラルランバー

製造者: 南海プライウッド株式会社
お問い合わせ先 品質管理チーム
TEL 087-894-8025

(一社)日本建材・住宅設備産業協会表示登録

発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-003064
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.kensankyo.org/

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

施工される方・お施主さまへ

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解のうえ、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。



注意
この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なうべきこと」を示します。

注意



製品には乗らない。

安全のため製品には乗らないでください。ケガ・死亡のおそれがあります。



耐荷重の目安を必ず守る。

※詳しくは下記の「耐荷重の目安値」をご参照ください。

ご使用上のお願い



粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



重量物を吊さない。

スタイラルランバーにパイプを取り付け、重量物を吊す場合はそれぞれの耐荷重値に適した施工を行ない、しっかりと固定されているかどうか確認してから吊してください。



油やインクの付着に注意する。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。



水濡れに注意する。

製品に直接水をかけたり、濡れた物を置いたりしないでください。表面化粧の剥がれや反りの原因となります。

お手入れについて

日常のお手入れ。



日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。

換気をしてください。



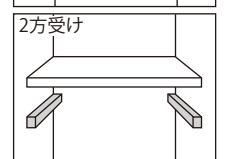
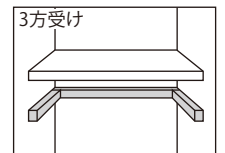
収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

ランバーシリーズ耐荷重の目安値

棚板として使用する場合は、以下の数値を目安にして棚板の取り付け方法を考慮し、上部に置く収納物を制限してください。

下記の数値は目安であり保証値ではありません。許容重量を参考にしてそれ以上重い物は収納しないでください。(単位:kg)

厚み		15mm厚 [芯材]集成材				20mm厚 [芯材]集成材				27mm厚 [芯材]集成材			
奥行(mm)		300	450	600	910	300	450	600	910	300	450	600	910
間口910mm	3方受	20	25	30	40	55	70	75	85	110	110	135	185
	2方受	10	15	20	30	25	40	60	85	70	105	130	185
間口1360mm	3方受	15	15	15	15	40	40	40	40	90	100	105	125
	2方受	斜線部分: 強度を確保できないため、使用しないでください。				10	20	25	30	35	50	70	90
間口1810mm	3方受					35	20	20	15	60	70	70	65
	2方受	斜線部分: 強度を確保できないため、使用しないでください。								15	20	30	55



注意

- 躯体強度、取り付け方法によっては性能を保持できない場合があります。
- 間口寸法によってはたわみ量が大きくなり、実用に適さない場合があります。
※間口が1810mmよりも広い棚板については、必ず方立、もしくは束を施工してください。
※表中の斜線表示部分は、このサイズでは強度を確保できないため、使用しないでください。
- 棚板の変形を防止するためにも荷重はできるだけ分散するようお願いいたします。
- この荷重の目安は、長期荷重試験においてJIS規格の範囲内で使用できる荷重値に安全率を加味した算出値です。
- 棚板の取り付けに弊社製品「棚柱セット」各種を使用する際は、「棚柱セット」の耐荷重値を確認の上、より小さい値を耐荷重の目安値としてご使用ください。
※棚柱セットでの棚板取り付けは「2方受」の耐荷重値に準じます。